

平成24年11月28日

第376回定例県議会

平成24年度12月補正予算案

知事提案理由説明要旨

福 井 県

第376回定例県議会の開会に当たりまして、県政運営の所信の一端を申し述べますとともに、県政の諸課題および平成24年度12月補正予算案等の概要につきまして、ご説明申し上げます。

(原子力行政と防災対策について抜粋)

資源の乏しいわが国にとって、エネルギー問題は国家の行く末を左右する最重要課題です。現在、原発を止めそれを補うため石油やLNG等の化石燃料を購入することにより、年間3兆円以上もの国富が余分に国外に流出しており、先月の貿易赤字も5千億円を超えています。各電力事業者も相次いで電気料金の値上げ申請を行うなど、野田総理が6月8日の記者会見で述べたとおり「電力価格の高騰、産業の空洞化により国が立ち行かない姿」が、今まさに現実のものとなってきています。

わが国における原子力発電の意義をしっかりと確認し、エネルギー問題に現実的に立ち向かわなければ、さらなる国力の低下は避けられず、また、全国の原発の安全確保さえも困難になります。来月の総選挙では原子力・エネルギー政策が争点の一つとなっていますが、代替エネルギーの確保や核燃料サイクル政策との関係など具体的な道筋はぼんやりとしたままで、明確には示されていません。

いずれにしても、国として一刻も早く責任ある体制を整え、原発の再稼働、高経

年化原発の取扱いとリプレイス、使用済み核燃料の中間貯蔵など様々な課題について責任ある見解を示す必要があります。

また、国の原子力規制委員会は、大飯原発敷地内の破砕帯について、今月2日に有識者による現地調査を行いました。その活動性等について結論に至らず、現在、事業者が追加調査の準備を進めています。敦賀原発についても、来月1日と2日に現地調査を行うこととなっていますが、規制委員会は、予断を持つことなく客観的データと科学的根拠に基づき、責任ある調査・審議を行うことが重要と考えます。

次に、防災対策について申し上げます。

先月末に国が示した原子力災害対策指針は、厳しい原子力災害に対し国自らが責任をもって立ち向かうことが明記されておらず、また、地方から述べた意見も反映されていません。

原子力災害対策においては、当然ながら被害のリスクや頻度、万一の際の損害が大きくなる原発近隣地域の防災対策を最優先に実行すべきであります。このため福井県では、まずは原発5km圏の安全を第一に考えてきめ細かな避難計画等を市町と協力して策定し、実効性ある防災対策を確立していきたいと考えております。一昨日、長島防衛副大臣に、また国土交通省と海上保安庁に対し、陸・海・空路による避難に対する支援や緊急時輸送のための資機材の整備充実を要請しました。

その上で、原発周辺地域住民の広域避難の対策については、広域防護範囲の科学的・合理的根拠、避難等の判断基準など、国において技術的項目を示すとともに、周辺地域との協議・調整について主導的役割を果たすことを強く要請し、周辺地域との議論を進めたいと考えております。

次に「エネルギー研究開発拠点化計画」については、一昨日、推進会議を開き、25年度の推進方針を決定しました。

国の原子力・エネルギー政策の将来像が明確に示されていない中、県としては引き続き、「安全・安心の確保」、「研究開発機能の強化」、「人材の育成・交流」、「産業の創出・育成」という4つの理念を基本とした上で、制圧・防災や国際化という観点からの安全対策の具体化、今後のエネルギーの多元化に備えた対応などを充実させていきます。

原子力の安全を支える人材の育成については、福井県国際原子力人材育成センターにおいて、国内外の研修生や技術者、約1千名を対象とした研修を行っていますが、今後、エネルギー研究センターや大学等と連携し、原子力規制の担当官を対象とした国際原子力安全研修院の研修が本県で実施されるよう、国に提案していきます。また、IAEAが主催する研修の県内誘致や専門家の招へいにも努めていきます。研究開発や産業振興では、県内企業も開発チームに加わり、放射線環境下での作業をサポートするパワーアシストスーツやレーザー除染技術の開発を進めていきます。エネルギーの多元化については、LNG関連インフラの整備に関し、本県の優位性や立地可能性等について調査研究を進めていきます。

また、万が一事故が発生した場合に高度な災害対応を行うため、電気事業連合会が27年度に本県に整備する原子力緊急事態支援機関については、ヘリポートや実践を想定した教育訓練施設など、ハード、ソフト両面にわたって充実させ、世界最高水準の活動機関とする必要があります。福島事故の対応に当たった関係機関の助言も得ながら、年内に開催する整備検討準備会において提言をまとめ、電気事業連合会に対し実現するよう強く求めていきます。